

火災・救急・救助統計

令和5年上半期



城陽市消防本部

目 次

火 災 関 係

火災概要	1
火災状況	2
署々別火災発生状況	3
地区別火災発生状況・月別火災発生状況	4
建物火災用途別発生状況・覚知別火災発生状況	5
原因別火災発生状況・上半期5ヵ年火災状況	6
消防事故発生状況・消防事故原因別発生状況	7
署々別消防事故発生状況・月別消防事故発生状況	8

救 急 関 係

救急概要	9
救急状況	10
署々別救急状況	11
月別救急状況	12
収容所要時間別救急搬送人員状況・現場到着所要時間別救急出動状況	13
事故種別・搬送病院別救急搬送人員状況	14
上半期5ヵ年救急状況・覚知別救急出動状況	15
地区別救急出動状況・月別救急出動状況	16
覚知時間別救急出動状況・曜日別救急出動状況	17
診療科目別救急搬送人員状況・年齢区分別救急搬送人員状況	18
傷病程度別救急搬送人員状況	19
救急隊員の行った応急処置の状況	20
市民等に対する応急手当普及啓発活動の実施状況	21

救 助 関 係

救助概要	22
救助状況・事故別傷病程度状況	23
署々別救助発生状況・上半期5ヵ年救助状況	24

火災関係

火災概要

令和5年上半期の出火件数は9件で、前年同期と比べ5件の増加となっている。

これを火災種別ごとに前年同期と比較すると、建物火災が5件で2件の増加、その他の火災が4件で3件の増加となっている。

火災による焼損棟数は8棟で、前年同期と比べ5棟の増加となっている。

これを焼損程度ごとに前年同期と比較すると、全焼が1棟の皆増、部分焼が2棟で1棟の増加、ぼやが5棟で3棟の増加となっており、焼損面積は床面積が645平方メートルの皆増、表面積が1平方メートルの皆減となっている。

火災による人的被害は負傷者がなく、死者が1人の皆増となっている。

り災世帯数については、全損が1世帯の皆増、小損が5世帯で2世帯の増加となっており、り災人員は13人で5人の増加となっている。

火災損害額合計は4,562万6千円で、前年同期と比べ4,433万6千円の増加となっている。

これを損害種別ごとに前年同期と比較すると、建物損害が4,562万2千円で4,433万2千円の増加、その他の損害が4千円の皆増となっている。

出火原因の状況については、放火、たき火が各2件、火入れ、電気機器、配線器具、電灯・電話等の配線、不明が各1件となっている。

前年同期と比べ、火災件数は増加しており、なかでも、放火が2件発生していることから、今後も更に放火による火災発生防止の徹底を図り、防火広報やパトロールの強化及び警察との連携強化に努めるとともに、市民や各事業所と一体となって、放火されない環境づくりに取組み、安心・安全な暮らしの実現を目指す。

火災状況

区 分		年 別		令和5年 (2023年)	令和4年 (2022年)	前年との 比 較
出火件数 (件)	合 計			9	4	5
	建 物	火 災		5	3	2
	林 野	火 災				
	車 両	火 災				
	船 舶	火 災				
	航 空 機	火 災				
	そ の 他 の 火 災			4	1	3
焼 損 棟 数 (棟)	合 計			8	3	5
	全 焼			1		1
	半 焼					
	部 分 焼			2	1	1
	ぼ や			5	2	3
焼 損 面 積	建 物 (m ²)	床 面 積		645		645
		表 面 積			1	△ 1
	林 野 (a)					
人 的 被 害 (人)	死 者			1		1
	負 傷 者					
り 災 世 帯 (世帯)	全 損			1		1
	半 損					
	小 損			5	3	2
り 災	人 員 (人)			13	8	5
損 害 額 (千円)	合 計			45,626	1,290	44,336
	建 物	損 害		45,622	1,290	44,332
	林 野	損 害				
	車 両	損 害				
	船 舶	損 害				
	航 空 機	損 害				
	そ の 他 の 損 害			4		4
	爆 発 損 害					
1日平均損害額 (千円)			252	7	245	
市民1人あたりの損害額 (円)			625	18	607	
火災1件あたりの損害額 (千円)			5,070	323	4,747	
建物火災1件あたりの焼損床面積 (m ²)			129		129	
出 火 率 (件/万人)			1.2	0.5	0.7	

△は減少を示す

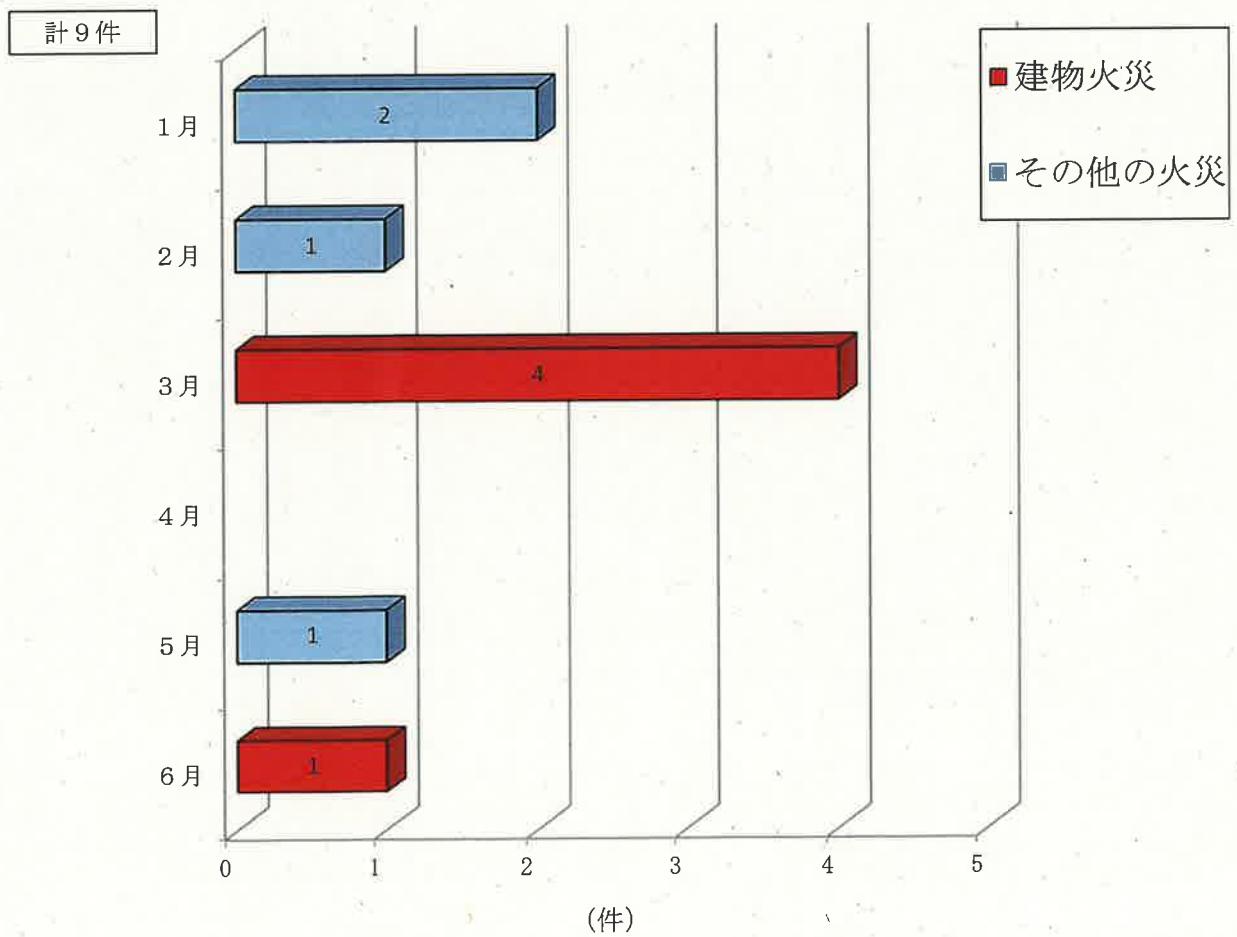
署々別火災発生状況

区 分		署々別			合 計
		消 防 署	久 津 川 消 防 分 署	青 谷 消 防 分 署	
出 火 件 数 (件)	合 計	4	4	1	9
	建 物 火 災	1	4		5
	林 野 火 災				
	車 両 火 災				
	船 舶 火 災				
	航 空 機 火 災				
	そ の 他 の 火 災	3		1	4
焼 損 棟 数 (棟)	合 計	4	4		8
	全 焼	1			1
	半 焼				
	部 分 焼		2		2
	ぼ や	3	2		5
焼 損 面 積	建 物 (㎡)	床 面 積	624	21	645
		表 面 積			
	林 野 (a)				
人 的 被 害 (人)	死 者		1		1
	負 傷 者				
り 災 世 帯 (世帯)	全 損	1			1
	半 損				
	小 損	1	4		5
り 災 人 員 (人)		6	7		13
損 害 額 (千円)	合 計	44,640	985	1	45,626
	建 物 損 害	44,637	985		45,622
	林 野 損 害				
	車 両 損 害				
	船 舶 損 害				
	航 空 機 損 害				
	そ の 他 の 損 害	3		1	4
	爆 発 損 害				

地区別火災発生状況

地区別	種別				合計
	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災	
久津川	3				3
久世	1				1
寺田					
今池	1			1	2
富野荘				2	2
青谷				1	1
合計	5			4	9

月別火災発生状況

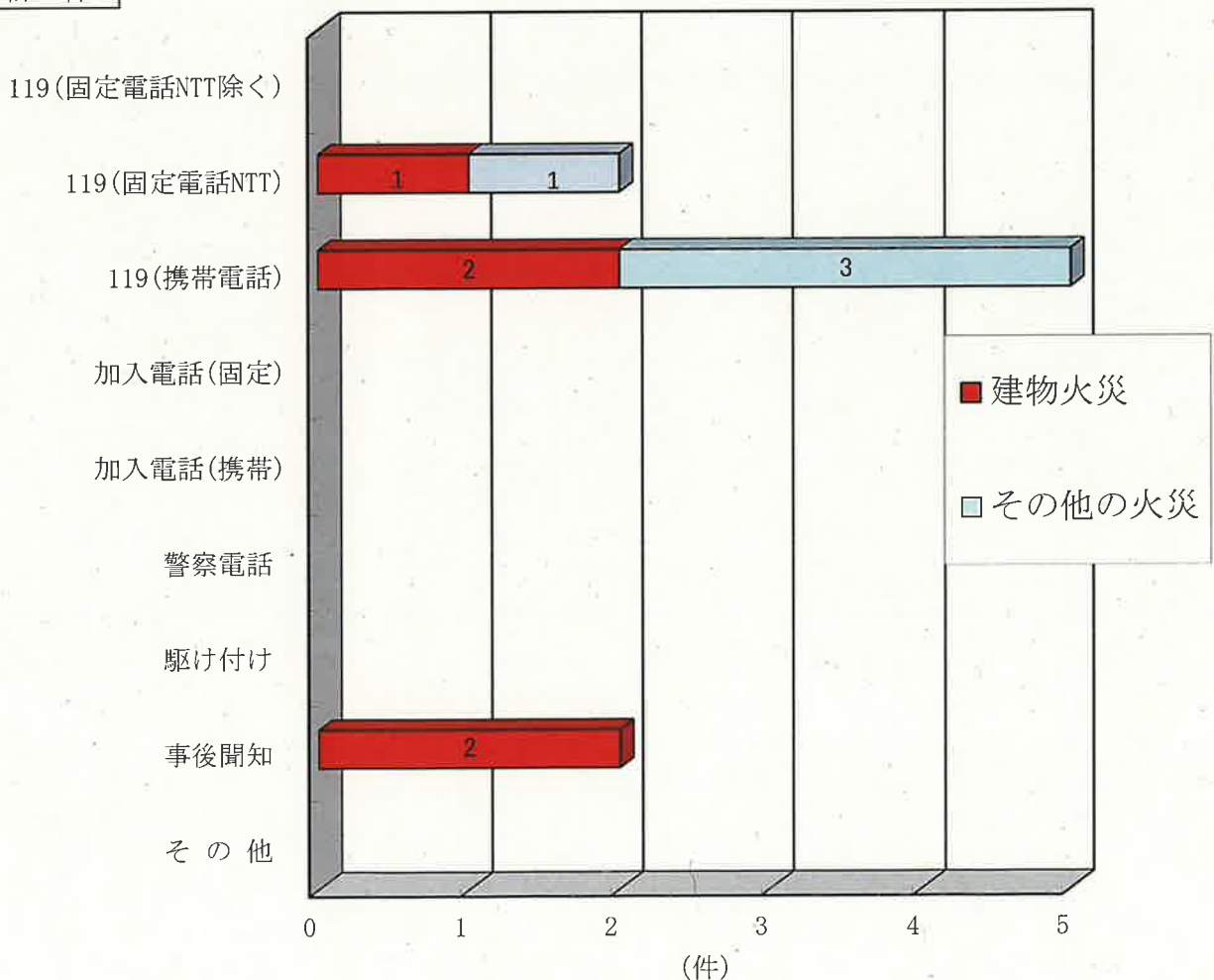


建物火災用途別発生状況

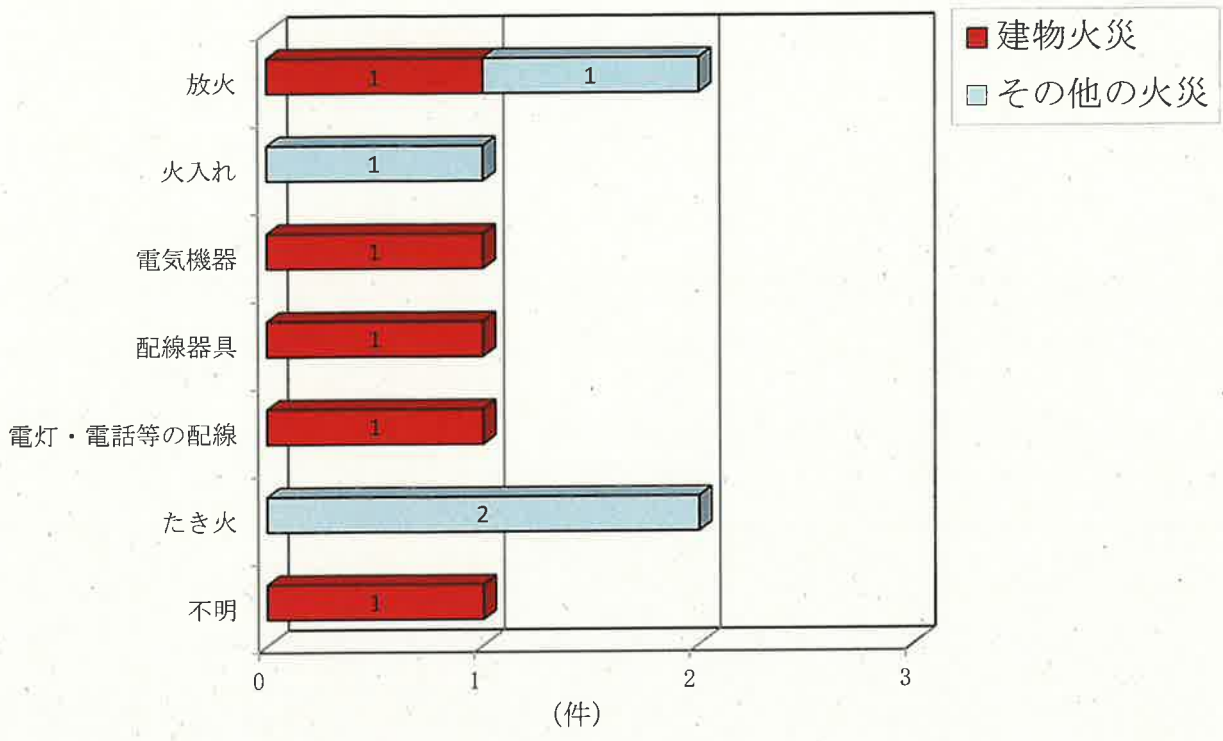
区分 用途別	火災 件数	焼損棟数				焼損床 面積 (m ²)	焼損表 面積 (m ²)	り災世帯			損 害 額 (千円)			
		全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や			全 損	半 損	小 損	建 物	収 容 物	(爆 発 等 其 他)	合 計
居住専用 建築物	4			2	2	21				4	829	156		985
居住産業 併用建 築物														
産業用 建築物	1	1			3	624		1		1	36,196	8,441	3	44,640
合 計	5	1		2	5	645		1		5	37,025	8,597	3	45,625

覚知別火災発生状況

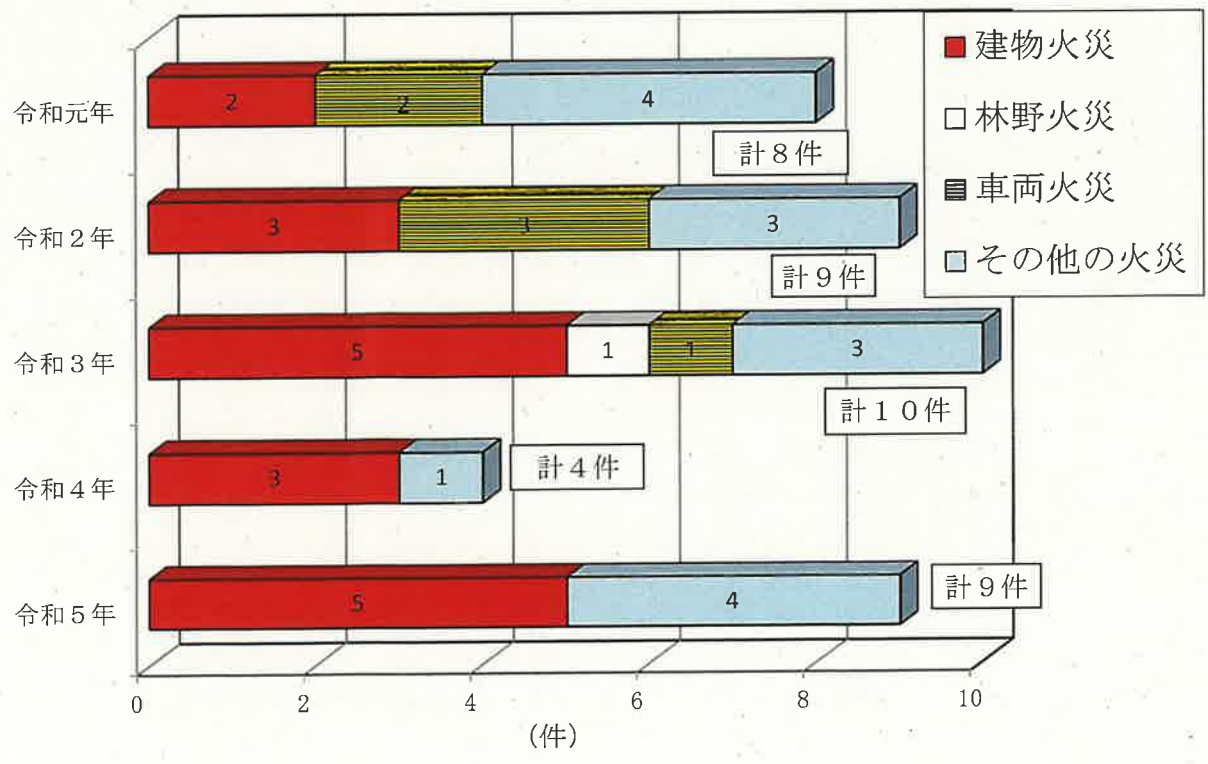
計 9 件



原因別火災発生状況



上半期5ヵ年火災状況



消防事故発生状況

種 別	年 別	令和5年 (2023年)	令和4年 (2022年)	前年との比較
無 損 事 故 (件)		3	2	1
燃 焼 放 置 事 故 (件)			1	△ 1
漏 洩 流 出 事 故 (件)		11	6	5
破 裂 事 故 (件)				
電 気 事 故 (件)				
誤 報 (件)		20	3	17
合 計 (件)		34	12	22

△は減少を示す

消防事故原因別発生状況

種 別	原 因	件数
無 損 事 故	不明	2
	たばこ	1
漏 洩 流 出 事 故	交通事故	9
	部品の不具合	1
	その他	1
誤 報	在宅高齢者緊急通報装置	8
	自動火災報知設備	6
	虚偽・いたづら	2
	住宅用火災警報器	1
	火煙等の誤認	1
	その他	2
合 計		34

署々別消防事故発生状況

種別 \ 署々別	本署 (件)	久津川 消防分署 (件)	青谷 消防分署 (件)	合計 (件)
無損事故	3			3
燃焼放置事故				
漏洩流出事故	7	1	3	11
破裂事故				
電気事故				
誤報	8	4	8	20
合計	18	5	11	34

月別消防事故発生状況

種別 \ 月別	無損事故 (件)	燃焼放置 事故 (件)	漏洩流出 事故 (件)	破裂事故 (件)	電気事故 (件)	誤報 (件)	合計 (件)
1月	1		2			4	7
2月			1			3	4
3月			2			3	5
4月	1		1			3	5
5月	1		4			4	9
6月			1			3	4
合計	3		11			20	34

救急関係

救急概要

令和5年上半期の救急出動件数は2,097件、搬送人員は1,930人で前年同期と比べ出動件数は74件、搬送人員は32人増加し、1日平均11.6件の出動となっている。

これを事故種別ごとにみると、急病1,473件、一般負傷354件、交通事故121件で全体の92.9%を占め、以下、転院搬送69件、労働災害23件、運動競技15件、自損行為13件、火災1件、その他28件となっている。

事故種別ごとの状況を前年同期と比較すると、一般負傷54件、急病21件、その他14件の増加に対し、自損行為7件、加害4件、交通事故、労働災害が各2件の減少、転院、運動競技、火災は増減なしとなっている。

搬送人員1,930人の傷病程度については、死亡25人、重症65人、中等症638人、軽症1,202人であり、入院加療を必要としない軽症者が全体の62.3%を占めている。

事故種別ごとに軽症者の占める割合を見ると、交通事故84.6%、一般負傷73.7%、急病59.4%となっている。

医療機関への収容先については、城陽市内43.5%、久御山町内24.5%、宇治市内20.5%、京田辺市内8.7%、京都市内2.5%、その他の京都府内0.3%、他府県0.1%となっている。

市民等に対する応急手当普及啓発活動は、上級救命講習の実施はなく、普通救命講習Ⅰ（3時間）を13回143人、その他の講習を27回1,062人に対して実施している。

令和5年上半期の救急出動状況は、前年同期と比べ出動件数で3.7%増加、搬送人員で1.7%の増加となっている。搬送人員のうち高齢者の占める割合は68.0%となっており、前年同期と比べると1.5ポイントの減少となっているが、高齢化社会を象徴する状況が続いている。

また、搬送人員に占める軽症者比率が高いことから、今後も救急車の適正利用について啓発活動を続けるとともに、救急隊現場到着までの空白時間を埋めるため、応急手当普及啓発活動をさらに推進し、救命率の向上に努める。

救急状況

区 分		令和 5 年 (2023年)			令和 4 年 (2022年)			前年との比較		
		出動件数 (件)	うち管外 (件)	搬送人員 (人)	出動件数 (件)	うち管外 (件)	搬送人員 (人)	出動件数 (件)	うち管外 (件)	搬送人員 (人)
事 故 種 別	火 災	1		1	1		1			
	自 然 災 害									
	水 難									
	交 通 事 故	121		117	123	2	119	△ 2	△ 2	△ 2
	労 働 災 害	23	1	22	25		24	△ 2	1	△ 2
	運 動 競 技	15		15	15	1	15		△ 1	
	一 般 負 傷	354		335	300		291	54		44
	加 害				4		4	△ 4		△ 4
	自 損 行 為	13		9	20		15	△ 7		△ 6
	急 病	1,473	2	1,361	1,452	3	1,360	21	△ 1	1
	そ の 他	転 院	69		69	69		69		
医 師 搬 送										
資 機 材 搬 送										
そ の 他		28	1	1	14			14	1	1
合 計		2,097	4	1,930	2,023	6	1,898	74	△ 2	32
不 搬 送 件 数		174			133			41		
出 動 延 べ 人 員		6,554			6,458			96		
1 日 平 均 出 動 件 数		11.6			11.2			0.4		
1 日 平 均 搬 送 人 員		10.7			10.5			0.2		
1 日 最 多 出 動 件 数		22			21			1		

△は減少を示す

署々別救急状況

区分		署々別	出動件数 (件)					搬送人員 (人)				
		本署	久津川 消防分署	青谷 消防分署	管外	合計	本署	久津川 消防分署	青谷 消防分署	管外	合計	
事故 種 別	火災		1			1		1			1	
	自然災害											
	水難											
	交通事故	63	40	18		121	61	38	18		117	
	労働災害	9	8	5	1	23	8	8	5	1	22	
	運動競技	11	2	2		15	11	2	2		15	
	一般負傷	209	113	32		354	196	108	31		335	
	加害											
	自損行為	6	7			13	3	6			9	
	急病	778	510	183	2	1,473	704	478	177	2	1,361	
	その他	転院	21	30	18		69	21	30	18		69
		医師搬送										
		資機材搬送										
その他		8	12	7	1	28			1		1	
合計	1,105	723	265	4	2,097	1,004	671	252	3	1,930		
前年累計	1,004	696	317	6	2,023	946	654	291	7	1,898		
増減	101	27	△ 52	△ 2	74	58	17	△ 39	△ 4	32		

△は減少を示す

月別救急状況

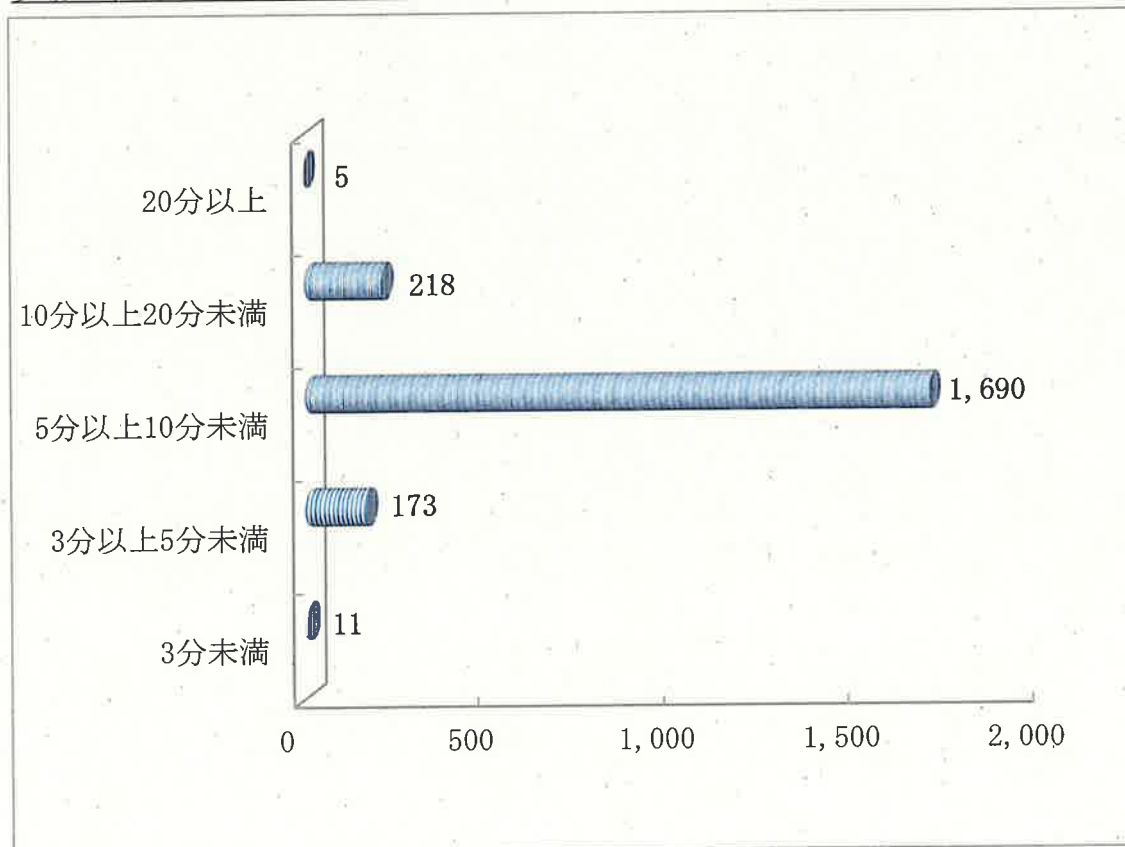
月別	区分	合計	事故種別													
			火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急性病	その他			
													転院	医師搬送	資材搬送	その他
合計	出動件数(件)	2,097	1			121	23	15	354		13	1,473	69			28
	不搬送(件)	174				10	1		19		4	113				27
	搬送人員(人)	1,930	1			117	22	15	335		9	1,361	69			1
1月	出動件数(件)	426				13	2	1	73		2	316	16			3
	不搬送(件)	35				1			4			27				3
	搬送人員(人)	392				13	2	1	69		2	289	16			
2月	出動件数(件)	328				19	4	3	45		2	242	10			3
	不搬送(件)	31				2			3			23				3
	搬送人員(人)	298				18	4	3	42		2	219	10			
3月	出動件数(件)	358	1			23	7	3	78		2	229	10			5
	不搬送(件)	26				4			5			13				4
	搬送人員(人)	333	1			20	7	3	73		2	216	10			1
4月	出動件数(件)	348				24	4	2	58		1	234	17			8
	不搬送(件)	32				1			2		1	20				8
	搬送人員(人)	317				24	4	2	56			214	17			
5月	出動件数(件)	318				25	1	3	45		3	227	9			5
	不搬送(件)	27							4		2	16				5
	搬送人員(人)	291				25	1	3	41		1	211	9			
6月	出動件数(件)	319				17	5	3	55		3	225	7			4
	不搬送(件)	23				2	1		1		1	14				4
	搬送人員(人)	299				17	4	3	54		2	212	7			

収容所要時間別救急搬送人員状況

事故種別 所要時間	急病 (人)	交通事故 (人)	一般負傷 (人)	その他 (人)	合計 (人)	比率 (%)
10分未満				1	1	0.1
10～20分未満	41	3	12	2	58	3.0
20～30分未満	577	65	144	57	843	43.7
30～60分未満	720	49	176	55	1,000	51.8
60～120分未満	22		3	2	27	1.4
120分以上	1				1	0.1
合計	1,361	117	335	117	1,930	100

現場到着所要時間別救急出動状況

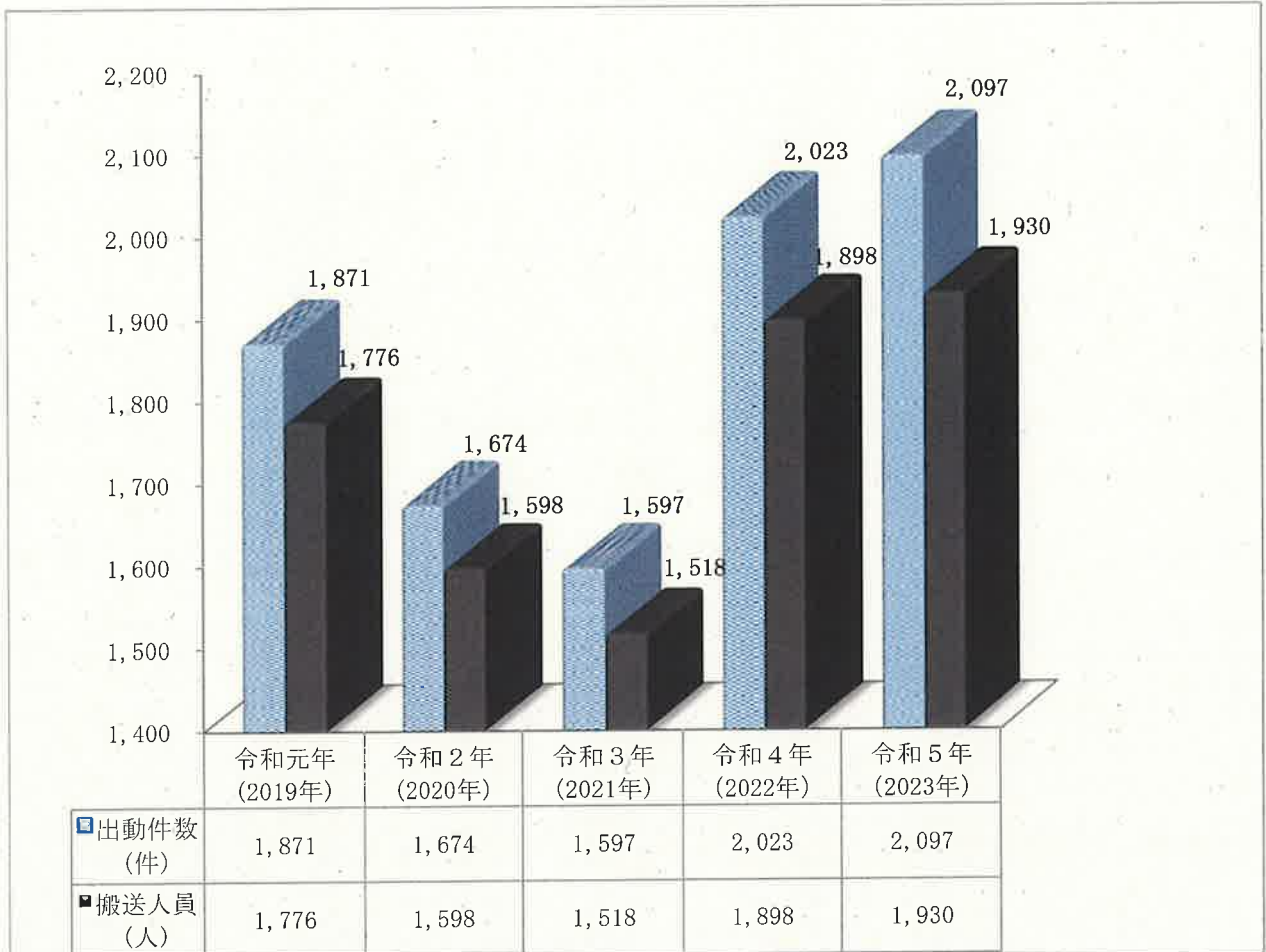
出動件数 2,097件



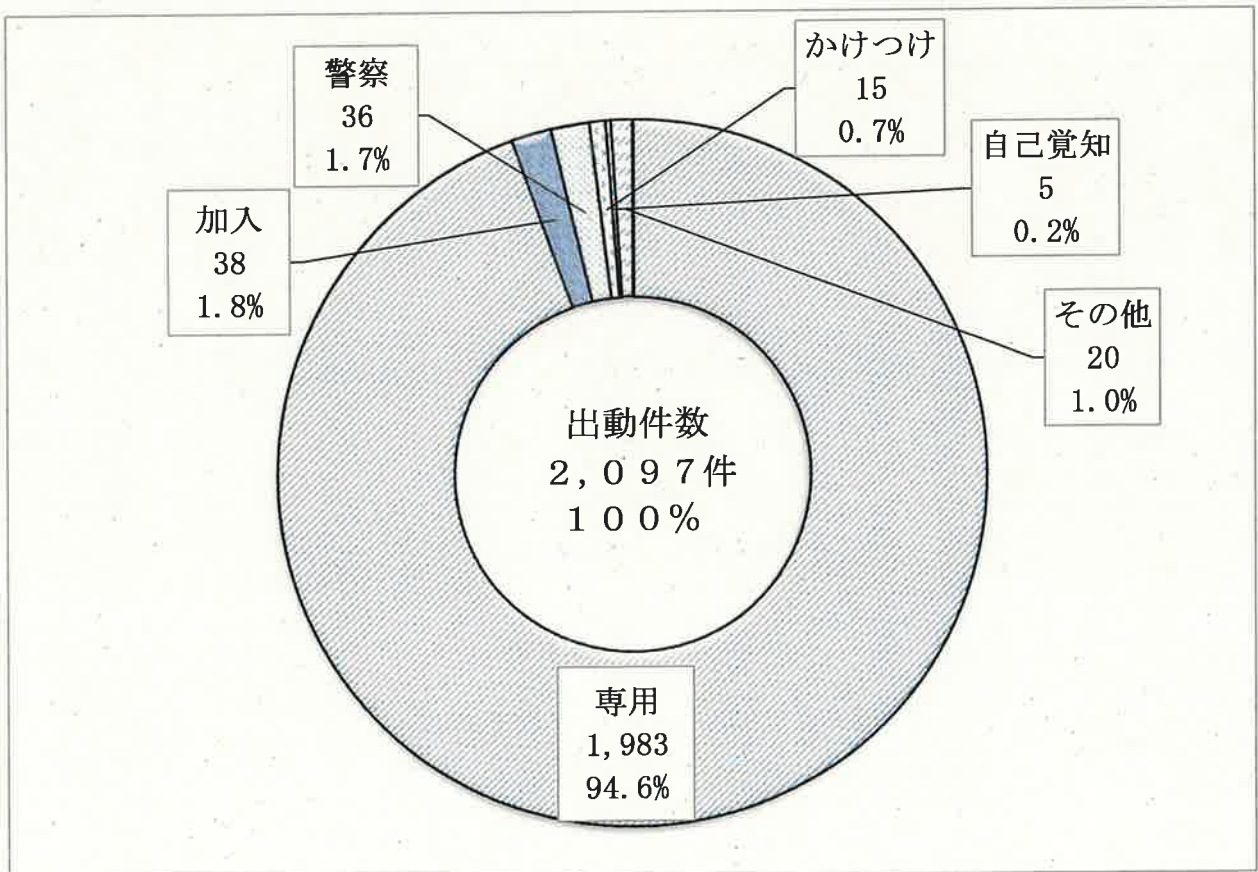
事故種別・搬送病院別救急搬送人員状況

病院		事故種別	急	交	一	そ	小	合	比
			病 (人)	通 事 故 (人)	般 負 傷 (人)	の 他 (人)	計 (人)	計 (人)	率 (%)
管 内		救急告示	570	58	175	31	834	840	43.5
		その他	6				6		
管 外	宇 治 市	救急告示	287	12	52	43	394	395	20.5
		その他	1				1		
	久 御 山 町	救急告示	345	31	75	21	472	472	24.5
		その他							
	京 田 辺 市	救急告示	111	16	30	10	167	167	8.7
		その他							
	京 都 市	救急告示	37		1	7	45	49	2.5
		その他	2		1	1	4		
	府 上 記 以 外	救急告示	2		1	2	5	5	0.3
		その他							
	他 府 県	救急告示				2	2	2	0.1
		その他							
その他の場所									
計	病 院	救急告示	1,352	117	334	116	1,919	1,930	100
		その他	9		1	1	11		
	その他の場所								
合計			1,361	117	335	117	1,930	1,930	

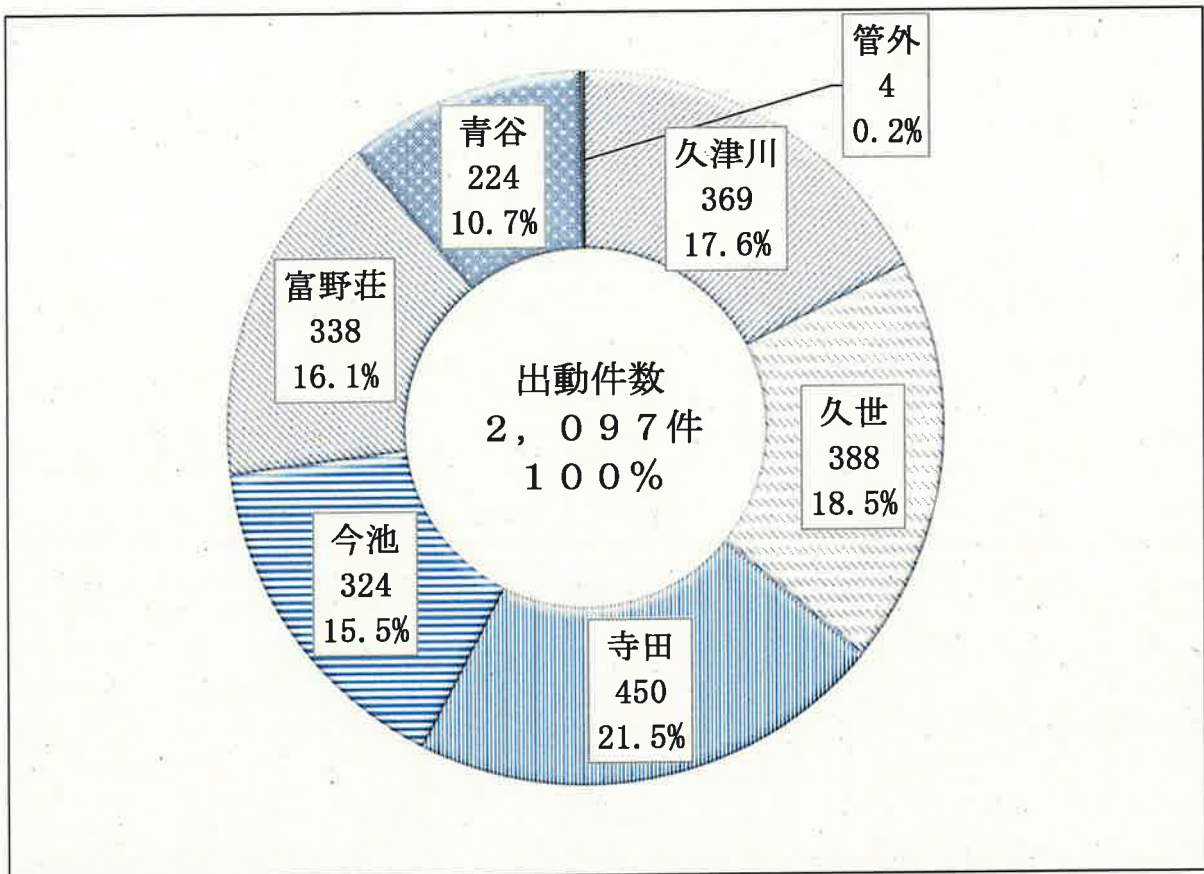
上半期5ヵ年救急状況



覚知別救急出動状況

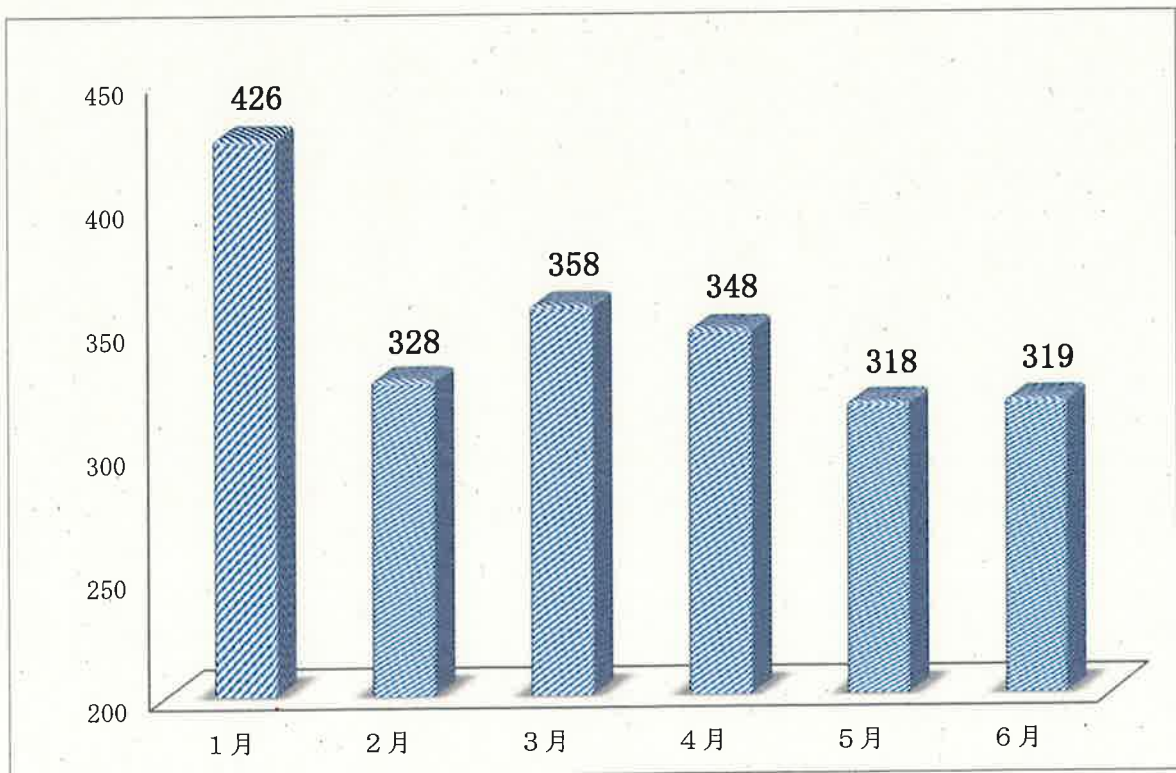


地区別救急出動状況



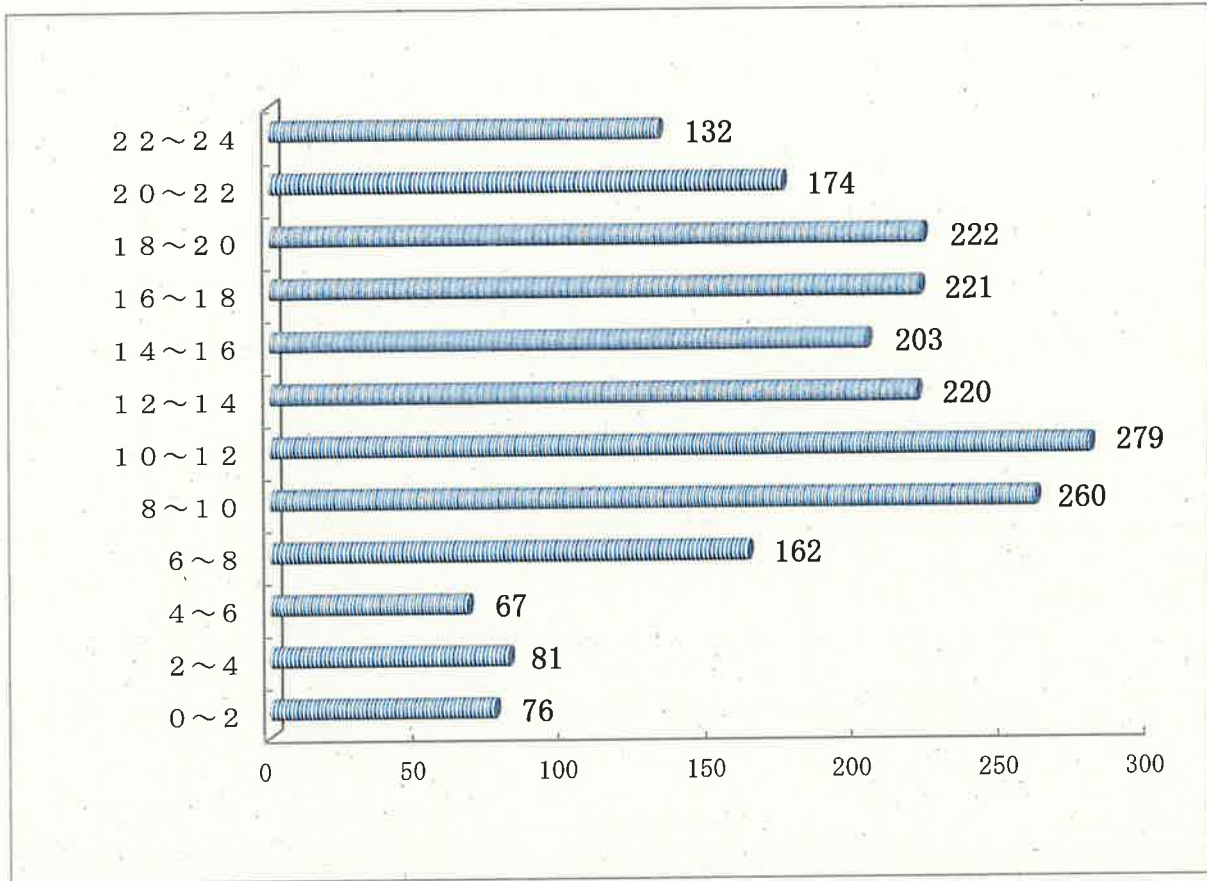
月別救急出動状況

出動件数 2,097件

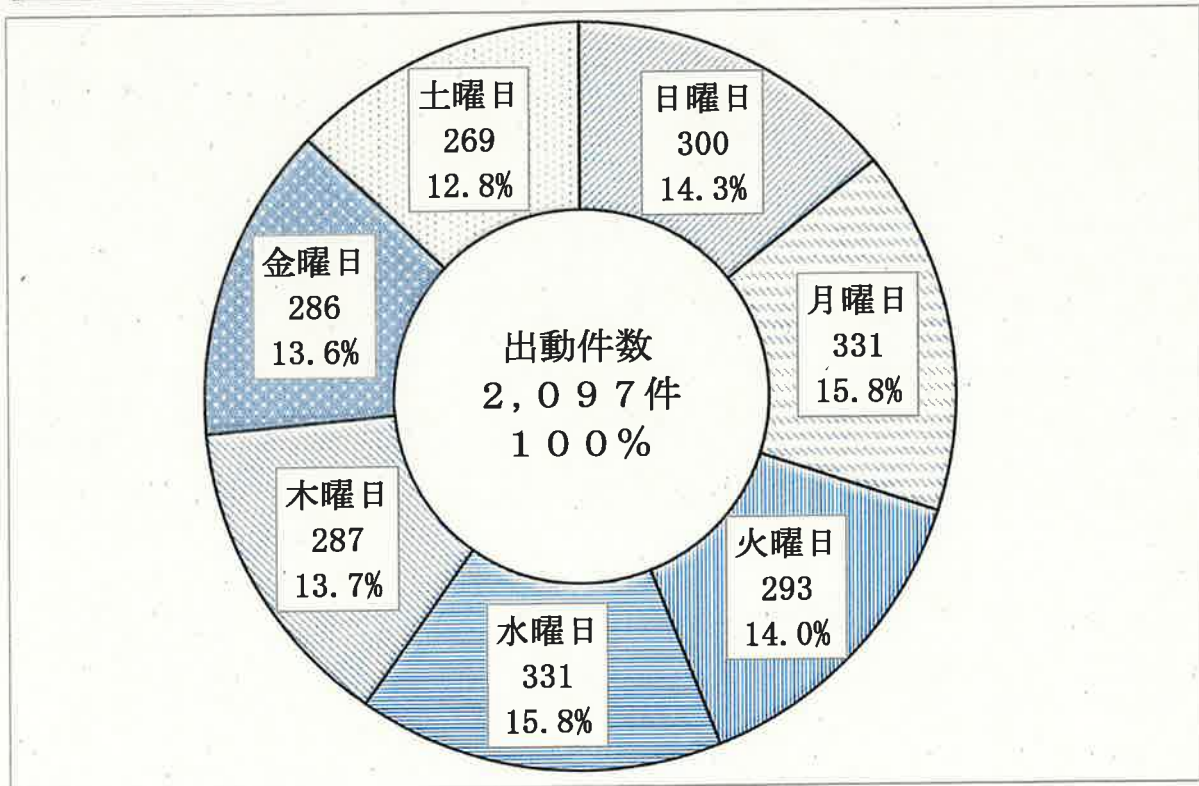


覚知時間別救急出動状況

出動件数 2,097件

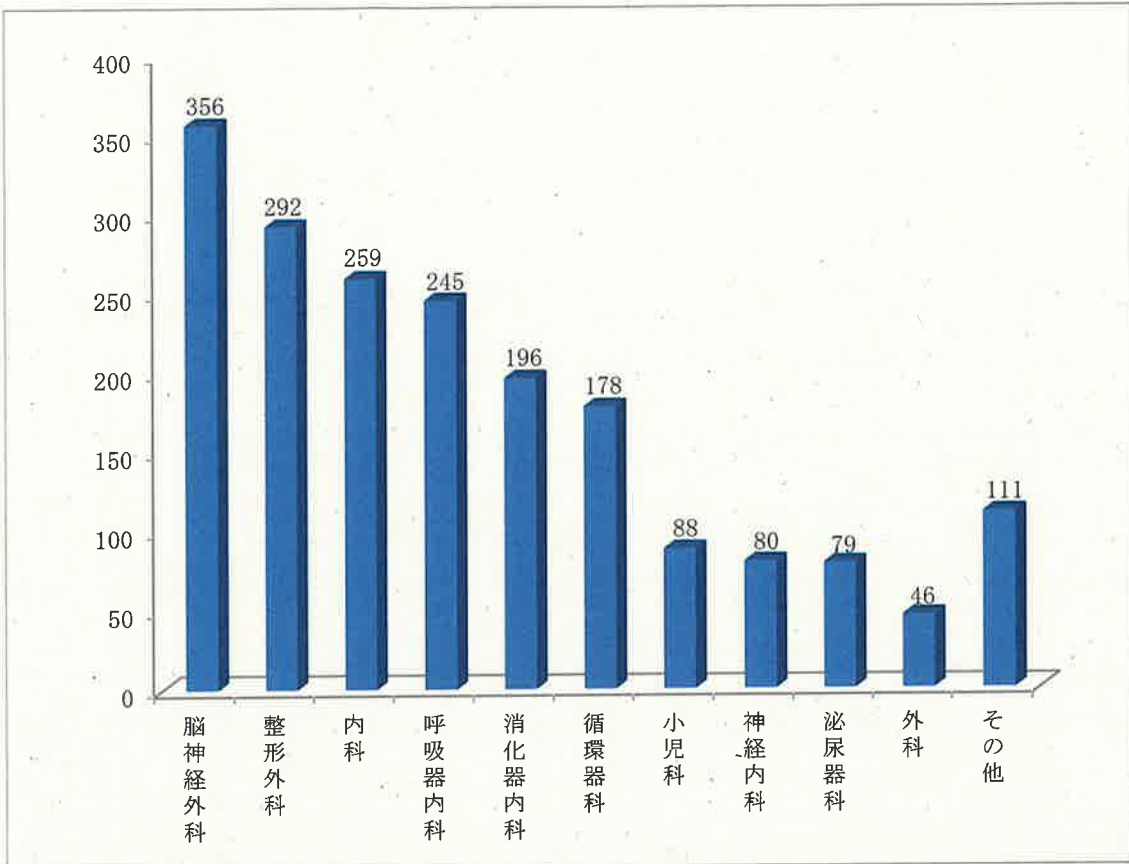


曜日別救急出動状況



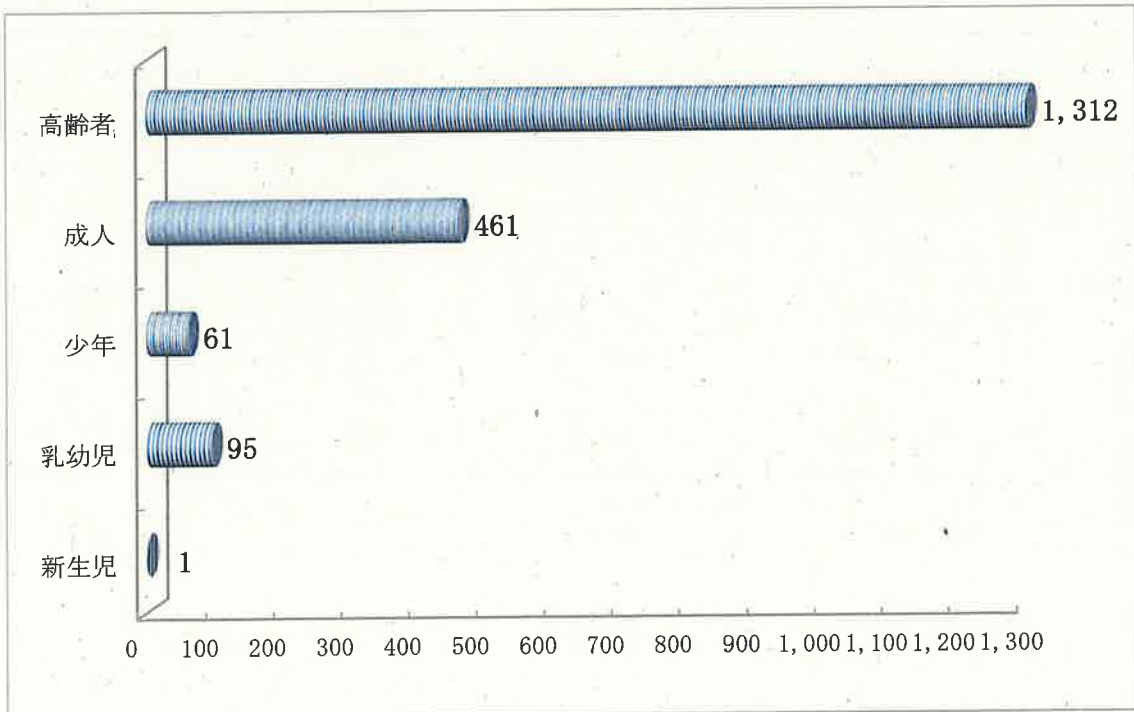
診療科目別救急搬送人員状況

搬送人員 1,930人



年齢区分別救急搬送人員状況

搬送人員 1,930人



傷病程度別救急搬送人員状況

傷病程度別 事故種別		死 亡 (人)	重 症 (人)	中 等 症 (人)	軽 症 (人)	そ の 他 (人)	合 計 (人)	軽 症 者 比 率 (%)
火	災	1					1	
自	然 災 害							
水	難							
交	通 事 故		3	15	99		117	84.6
労	働 災 害			3	19		22	86.4
運	動 競 技			3	12		15	80.0
一	般 負 傷	2	11	75	247		335	73.7
加	害							
自	損 行 為	1		3	5		9	55.6
急	病	21	51	480	809		1,361	59.4
そ の 他	転 院			59	11		70	15.7
	そ の 他							
合 計		25	65	638	1,202		1,930	62.3
比率 (%)		1.3	3.4	33.1	62.3		100	

救急隊員の行った応急処置の状況

事故種別	急病 (人)	交通事故 (人)	一般負傷 (人)	その他 (人)	合計 (人)	
搬送人員	1,361	117	335	117	1,930	
応急処置対象人員	1,359	117	334	117	1,927	
急 処 置	止 血	11	3	36	3	53
	固 定	2	41	18	9	70
	人工呼吸					
	心マッサージ					
	自 動					
	心肺蘇生	37		3	2	42
	自 動	30		3	2	35
	酸素吸入	253	7	20	28	308
	気道確保	39		3	2	44
	食道閉鎖式 エアウェイ	10			1	11
	気管挿管	7		3		10
	保温	493	19	78	35	625
	被 覆	7	11	56	7	81
	在宅療法継続	24		2		26
	血圧保持					
	除 細 動	4				4
	血糖値測定	17	1			18
	静脈路確保	20		1		21
	C P A	12		1		13
	ショック	1				1
	低血糖	7				7
	薬剤投与	18		1		19
	アドレナリン	11		1		12
ブドウ糖	7				7	
そ の 他	1,358	117	333	116	1,924	
血圧測定	1,275	116	309	111	1,811	
聴診器による 心音等の聴取	195	12	29	13	249	
血中酸素飽和 度の測定	1,326	117	326	115	1,884	
心 電 図	544	11	32	44	631	
合 計	5,623	455	1,247	485	7,810	

※ 一人の傷病者に対して複数の応急処置を行った場合もそれぞれの項目に記入してあります。

市民等に対する応急手当普及啓発活動の実施状況

月	講習名	回数 (回)	受講人員 (人)	指導人員 (人)	出隊車両 (台)
1月	上級救命講習				
	普通救命講習 I				
	その他の講習	1	90	2	1
2月	上級救命講習				
	普通救命講習 I	1	9	1	1
	その他の講習	2	118	5	2
3月	上級救命講習				
	普通救命講習 I	2	7	2	1
	その他の講習	4	84	6	4
4月	上級救命講習				
	普通救命講習 I	1	3	1	1
	その他の講習	3	90	7	3
5月	上級救命講習				
	普通救命講習 I	4	49	7	4
	その他の講習	6	174	16	6
6月	上級救命講習				
	普通救命講習 I	5	75	10	2
	その他の講習	11	506	22	10
合計	上級救命講習				
	普通救命講習 I	13	143	21	9
	その他の講習	27	1,062	58	26

救 助 関 係

救助概要

令和5年上半期の救助出動件数は30件で前年同期と比べ7件の増加、活動件数は24件で9件の増加、救助人員は19人で7人の増加となっている。

事故種別ごとの出動及び活動状況では、火災の出動件数は1件で活動件数が1件、交通事故の出動件数は2件で活動件数が2件、建物等による事故の出動件数は15件で活動件数が14件、その他の事故の出動件数は12件で活動件数が7件となっている。

事故種別ごとの救助人員及び傷病程度をみると、火災では1人を救助し、死亡が1人、交通事故では2人を救助し、中等症及び軽症が各1人、建物等による事故では11人を救助し、死亡及び重症が各1人、中等症が3人、軽症が6人、その他の事故では5人を救助し、軽症が3人、不搬送が2人となっている。

前年同期と比べ救助出動件数が増加しており、今後も都市構造の変化により複雑多様化する救助事象に対応するため、救助資器材の整備や訓練を重ね、隊員の知識・技術・体力の向上を図り、安全・確実・迅速な救助活動が展開できるよう努める。

救助状況

年 別 事 故 種 別	令和5年 (2023年)			令和4年 (2022年)			前年との比較		
	出動件数 (件)	活動件数 (件)	救助人員 (人)	出動件数 (件)	活動件数 (件)	救助人員 (人)	出動件数 (件)	活動件数 (件)	救助人員 (人)
火 災	1	1	1				1	1	1
交 通 事 故	2	2	2				2	2	2
水 難 事 故									
風水害等自然災害									
機械による事故									
建物等による事故	15	14	11	1	1	1	14	13	10
ガス及び酸欠事故									
破 裂 事 故									
その他の事故	12	7	5	22	14	11	△ 10	△ 7	△ 6
合 計	30	24	19	23	15	12	7	9	7

△は減少を示す

事故別傷病程度状況

傷 病 程 度 事 故 種 別	活動件数 (件)	救助人員 (人)	傷 病 程 度					
			傷 死 亡 (人)	重 症 (人)	中 等 症 (人)	軽 症 (人)	不搬送 (人)	
火 災	1	1	1					
交 通 事 故	2	2			1	1		
水 難 事 故								
風水害等自然災害								
機械による事故								
建物等による事故	14	11	1	1	3	6		
ガス及び酸欠事故								
破 裂 事 故								
その他の事故	7	5				3	2	
合 計	24	19	2	1	4	10	2	

署々別救助発生状況

署々別 事故種別	消 防 署			久 津 川 消 防 分 署			青 谷 消 防 分 署			管 外			合 計		
	出動件数 (件)	活動件数 (件)	救助人員 (人)	出動件数 (件)	活動件数 (件)	救助人員 (人)	出動件数 (件)	活動件数 (件)	救助人員 (人)	出動件数 (件)	活動件数 (件)	救助人員 (人)	出動件数 (件)	活動件数 (件)	救助人員 (人)
火 災				1	1	1							1	1	1
交 通 事 故	1	1	1				1	1	1				2	2	2
水 難 事 故															
風 水 害 等 自 然 災 害															
機 械 に よ る 事 故															
建 物 等 に よ る 事 故	9	9	8	6	5	3							15	14	11
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故															
破 裂 事 故															
そ の 他 の 事 故	6	5	4	2	1		4	1	1				12	7	5
合 計	16	15	13	9	7	4	5	2	2				30	24	19

上半期5ヵ年救助状況

